

株主メモ

事業年度 毎年3月21日から翌年3月20日まで

定時株主総会 6月開催

基準日
定時株主総会 毎年3月20日
期末配当金 毎年3月20日
中間配当金 毎年9月20日

株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関
東京都千代田区丸の内1丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
大阪市中央区北浜4丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063
郵送物送付先
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

お問い合わせ先 0120-782-031 (フリーダイヤル)

URL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 当社の公告方法は電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.alinco.co.jp>
(ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の「特別口座について」をご確認ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていた株主様には、三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。上記お問い合わせ先をお願いいたします。

株主優待について

毎年3月20日現在の当社株主名簿に記載された株主様を対象としております。

保有株式数	株主様への株主優待制度	
500株以上 1,000株未満	3年未満 保有	1,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	2,000円分の商品券
1,000株以上 5,000株未満	3年未満 保有	2,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	3,000円分の商品券
5,000株以上 10,000株未満	3年未満 保有	4,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	5,000円分の商品券
10,000株以上	3年未満 保有	6,000円分の商品券
	3年以上 継続保有	8,000円分の商品券

上記の商品券は三井住友カードの「VJAギフトカード」となります。

 **アルインコ株式会社**



この印刷物は、植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

表紙の作品
について

表紙のイラストは、花守洗果さん作「SMILE～満開～」(パラリンアート作品)です。
※パラリンアートとは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する一般社団法人障がい者自立推進機構です。アルインコは、「パラリンアート」を応援しております。

 **Paralym Art**®

 **アルインコ株式会社**
証券コード:5933

ALINCO
REPORT

第53期 年次報告書

2022年3月21日 >>>> 2023年3月20日

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第53期(2023年3月期)の業績と今後の見通しについてご報告申し上げます。



代表取締役会長
井上 雄策

● 第53期(2023年3月期)の業績について

当期における事業環境は、コロナ禍で落ち込んだ企業の設備投資意欲の回復や政府による国土強じん化の加速化対策により、建設投資が堅調に推移いたしました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰、急速な円安の進行、世界的な金融引き締めなどにより、景気は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、新型足場「アルバトロス」の採用増に対応するため増産を推し進め、さらに2022年9月には大阪府泉大津市に新たな機材センターをオープンするなど、販売とレンタルの両面で製品の安定供給に努めました。鋼材などの原材料価格上昇や急速な円安による海外からの仕入コストの上昇に対しては、販売価格の改定を行い利益率の改善に取り組みました。

この結果、当期の売上高は、前期比9.9%増の607億17百万円となり過去最高となりました。利益面においては、販売価格の改定による効果が徐々に得られた結果、営業利益は前期比116.3%増の24億20百万円となりました。経常利益は、為替予約によるヘッジ効果や外貨建資産の評価において為替差益を計上したことに加え、持分法投資損失が減少したことから前期比216.9%増の35億68百万円と大幅に増加しました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比242.8%増の15億46百万円となりました。

ニッチマーケットでトップ企業に

● 今後の見通し

当社グループは、2021年4月に第52期(2022年3月期)から第54期(2024年3月期)までの3カ年を実行期間とする「中期経営計画2024」を策定し、当社がコア事業として位置付けている仮設機材の製造、販売、レンタルに係る事業の深耕と、その他事業の業容拡大に向けた事業基盤の構築に努めてまいりました。これにより、新型足場「アルバトロス」の採用ユーザーの拡大、M&Aにより子会社化した東電子工業(株)のプリント基板受注の増加など、売上高を着実に伸ばしています。しかしながら、コロナ禍での景気の停滞、原材料価格の高騰や円安の進行等が計画策定時の想定を超えたスピードで推移し、利益面での大きな制約要因となっています。

「中期経営計画2024」の最終年度となる次期については、当期までに実施した販売価格改定の効果を着実に実現するべく、製品供給の効率性と利便性をより一層高めることにより、引き続き受注好調が見込まれる新型足場「アルバトロス」の需要に対応し、また関連機材の開発による使用現場の拡大に取り組みます。加えて、フィットネス関連製品において、物価高下での価格戦略の見直しを進め、新たに立ち上げたブランド製品による売上などを拡大してまいります。

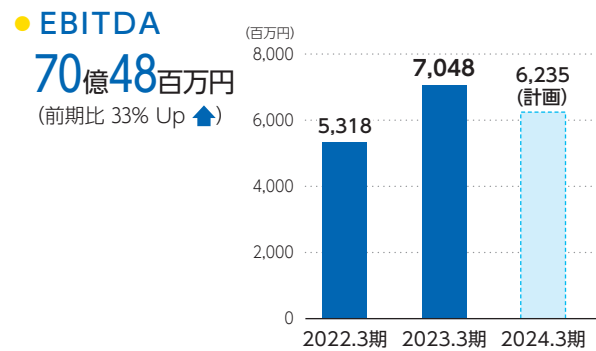
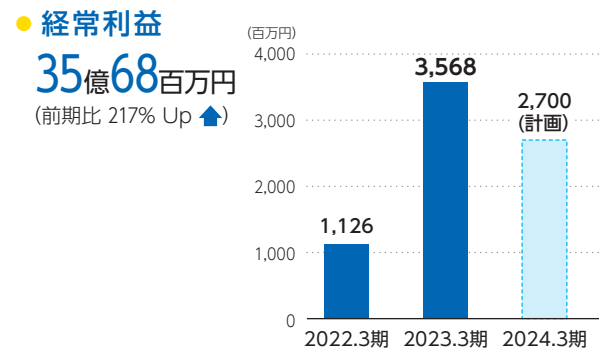
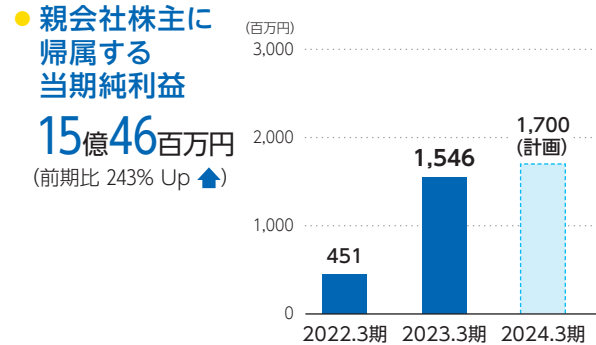
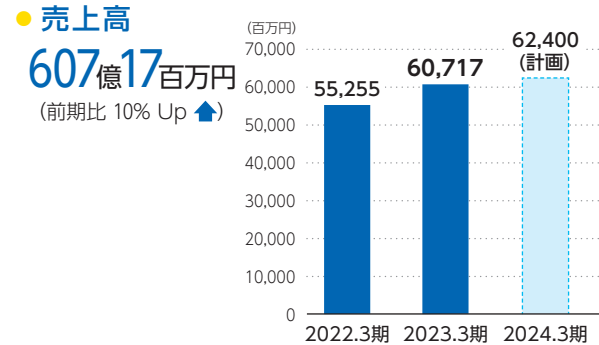


代表取締役社長
兼 社長執行役員
小林 宣夫

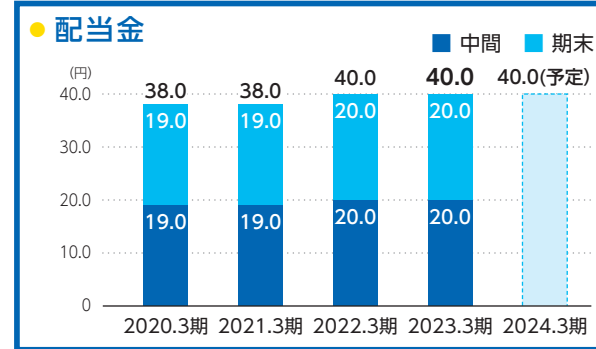
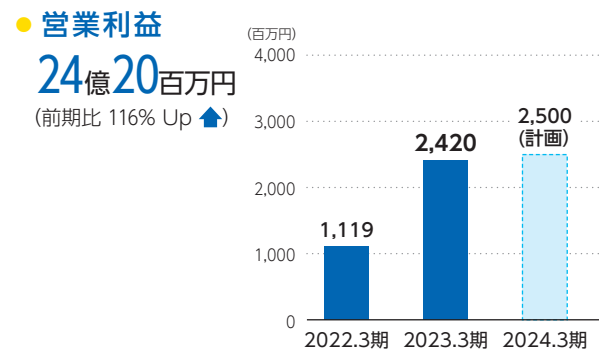
WEBサイトで
IR情報を発信中



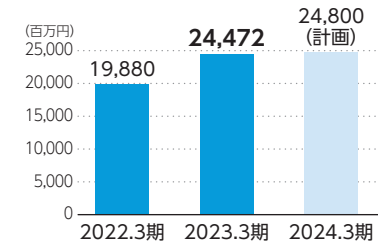
業績ハイライト (2023年3月期)



(注) EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法投資損益

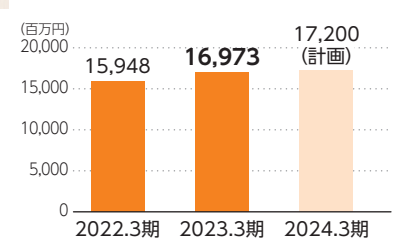


建設機材関連事業



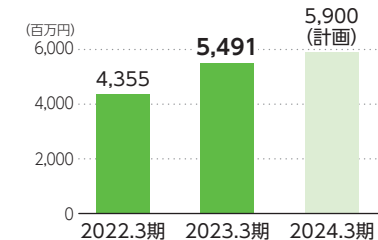
- 新型足場「アルパトロス」のシェア拡大
- 関連製品の拡充

レンタル関連事業



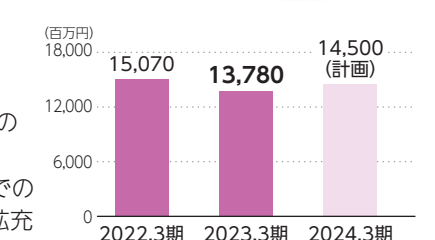
- 販売部門と連携して当社製品のシェア拡大

電子機器関連事業

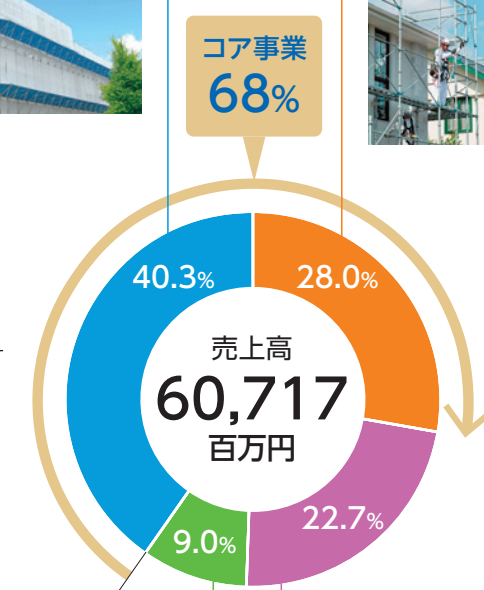


- IoT分野製品の販売拡大
- グループ全体での製販増強

住宅機器関連事業



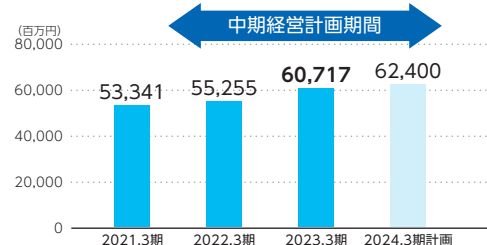
- 多様な新製品の展開
- グループ全体での新ジャンルの拡充



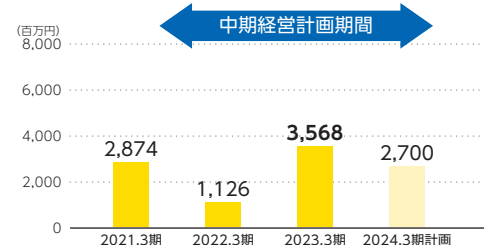
売上高・経常利益推移

2023年5月2日に中期経営計画2024における数値目標の見直しを行いました。
 売上高については、コア事業の好調等を踏まえて624億円(当初目標610億円)へ上方修正しました。経常利益については、計画策定時点では想定していなかった原材料価格の上昇や急激な円安の進行状況を踏まえ、27億円(当初目標42.7億円)としました。
 引き続き、計画達成に向けて取組みをすすめてまいります。

売上高



経常利益



中期投資等計画

中期経営計画に基づく投資は、将来の成長に向けて着実に実施しています。
 当初計画153億円に対し、137.6億円については実施済みなし期間中に実施予定です。
 また、M&A関連投資については、効果的な投資の実施を引き続き検討してまいります。

	計画	合計 (A+B) (計画比)	2023年3月期まで 実績 (A)	2024年3月期まで 予定 (B)
レンタル資産投資	61億円	61.1億円 (100%)	38.6億円	22.5億円
生産性向上・能力増強投資 新製品開発投資	46億円	45.2億円 (98%)	23.7億円	21.5億円
M&A関連投資	45億円	30.2億円 (68%)	17.7億円	12.5億円
人材関連投資	1億円	1.1億円 (110%)	0.7億円	0.4億円
3か年投資額 合計	153億円	137.6億円 (90%)	80.7億円	56.9億円

投資計画 1 泉大津機材センター開業 2022年9月完成

- 新型足場「アルバトロス」、アルミ朝顔、可搬式作業台などの供給拠点
- 2025年大阪・関西万博開催など関西地区での需要増加に対応
- 敷地面積 約11,000㎡



投資計画 2 福知山物流センター隣地取得による拡張 計画進行中

- 敷地面積 15,000㎡拡張 (既存約24,000㎡)
- 約2,000坪の新倉庫建築計画を進行中
- 新型足場「アルバトロス」、アルミニウム合金製可搬式作業台「エアベース」などの物流拠点



投資計画 3 東電子工業(株)新工場建設 2023年10月竣工予定

- 自動車業界・遊技台業界・防災機器業界からのプリント基板受注増へ対応
- 景気変動に強い安定した事業基盤の確立
- 約2,222㎡の敷地に新工場及び作業棟を建設中



建設機材関連製品

進化する足場「アルバトロス」

現場で求められる安全性・拡張性・作業性を追求し開発



高強度、高信頼性の緊結部
頑丈設計。経年使用にも安心
手すり先行工法が標準仕様・標準工法
(改正安衛則適合品)



マルチパーパス
大平面の移動式ステージも簡単
3次元的組立
作業スペース下に大きな空間の確保が簡単



部材は軽量・コンパクト
枠組足場の簡単さと単管足場の自由さ
広い作業スペースの快適空間を提供
突起や隙間のないワイドなステージが簡単に
施工性大幅アップで作業コスト削減
単管・クランプを大幅に削減

その他の主要製品



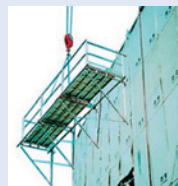
アルミ朝顔



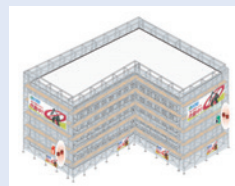
セーフティSKパネル



エアベース



荷受けフォーム



仮設足場侵入警報システム

トータルフィットネスブランド「MIVIOS」始動

MIVIOSは“美”と“健康”を内側から引き出し、堂々と自信に満ち溢れた身体を作ることを目的としたトータルフィットネスブランドです。

思わず手に取りたくなるような新しいデザインで一人でも多くの人の健康を応援したい、そんな思いからMIVIOSは生まれました。



製品詳細はこちら



ALINCOクラウドで繋がるIP無線ネットワーク

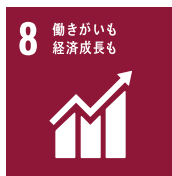
携帯電話回線を介して通信するIP無線機とスマートフォン・タブレットに搭載するインカムアプリケーションAir-InCom。インターネットに繋がる環境であれば、国内どこでもALINCOクラウドサービスにアクセスし通信できます。ご利用状況に応じてIP無線機とAir-InCom.を使い分け可能です。



製品詳細はこちら



アルインコグループ健康経営宣言



「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定

2023年3月、経済産業省及び日本健康会議が定める「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定されました。

当社グループは引き続き、健康経営の推進に取り組んでまいります。

健康経営の取組み
詳細はこちら



サステナビリティへの取組み
詳細はこちら



アルインコグループは創業以来、社会の「安全・安心」を実現することを目指して歩んで参りました。そしてそのために、まずは社員が「安全・安心」な環境で働けることが基本となります。

「安全・安心」な職場環境で働くことで社員が心身ともに健康となり、その力を最大限発揮できることこそ、企業価値の向上および持続的な成長を生み出せると考えております。アルインコグループは、健康で活気ある職場環境づくりに努め、社員一人ひとりの健康意識向上を継続的に支援してまいります。

● 会社概要

社名	アルインコ株式会社
英文社名	ALINCO INCORPORATED
本店	大阪府高槻市三島江1丁目1番1号
大阪本社	大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号
東京本社	東京都中央区日本橋2丁目3番4号
創業年月	1938年9月
設立年月日	1970年7月4日
資本金	63億6,159万円
上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	5933
従業員数	(連結)1,481名 (単体)759名

● 役員 (2023年6月19日現在)

代表取締役会長	井上 雄策	常務執行役員	楠原 和広
代表取締役社長 兼 社長執行役員	小林 宣夫	常務執行役員	小嶋 博隆
取締役 兼 専務執行役員	岡本 昌敏	常務執行役員	西岡 俊浩
取締役 兼 常務執行役員	坂口 豪志	常務執行役員	山本 和弘
取締役 兼 上席執行役員	井上 智晶	上席執行役員	川上 義広
社外取締役	水野 浩児	執行役員	佐倉 広太郎
社外取締役	細川 明子	執行役員	小土井 晃雅
取締役※	吉井 敏憲	執行役員	鶴山 伸治
社外取締役※	野村 公平	執行役員	神藤 和行
社外取締役※	勘場 義明	執行役員	鶴留 朋広
		執行役員	青山 憲吾

注) ※は監査等委員であります。

● 株式の状況

発行可能株式総数	35,200,000株
発行済株式数	21,039,326株
うち自己株式数	1,162,105株
株主数	9,058名

● 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
アルメイト株式会社	3,153	15.87
アルインコ共栄会	1,406	7.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,375	6.92
アルインコ従業員持株会	761	3.83
井上雄策	612	3.08
井上敬策	574	2.89
株式会社日本カストディ銀行 (りそな銀行再信託分・株式会社関西 みらい銀行退職給付信託口)	451	2.27
阪和興業株式会社	316	1.59
有限会社エスアイエム	288	1.45
野村信託銀行株式会社 (アルインコ従業員持株会専用信託口)	270	1.36

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3. 株式会社日本カストディ銀行(りそな銀行再信託分・株式会社関西みらい銀行退職給付信託口)の持株数451千株は、委託者である株式会社関西みらい銀行が議決権の指図権を留保しております。
4. 当社は、自己株式1,162,105株を所有しておりますが、上記の表には含めておりません。
5. 自己株式には「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)」導入に伴い設定された「アルインコ従業員持株会専用信託口」が保有する当社株式270,700株を含んでおりません。

● 株式分布状況

